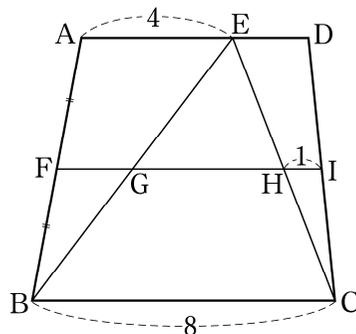


小テスト	No.24 図形の性質 三角形と比				/20
	年	組	番	名前	

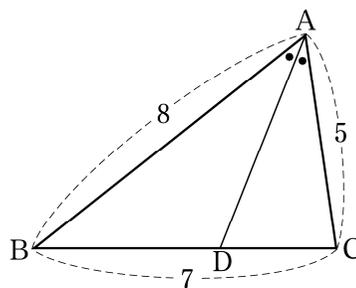
1. $AD \parallel BC$ の台形 $ABCD$ において、 AD 上の点を E とする。また、辺 AB の中点 F から辺 BC に平行な直線を引き、 EB 、 EC 、 DC との交点をそれぞれ G 、 H 、 I とする。 $AE=4$ 、 $BC=8$ 、 $HI=1$ のとき、 ED の長さ、 FI の長さを求めよ。



2. 線分 AB を引き、その線分について次の点を図示せよ。

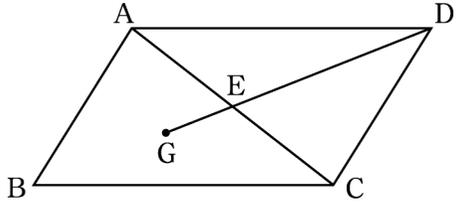
- (1) AB の中点 M
- (2) AB を $3:2$ に内分する点 P
- (3) AB を $1:3$ に外分する点 Q

3. $\triangle ABC$ において、 $\angle A$ の二等分線と対辺 BC との交点を D とする。 $AB=8$ 、 $AC=5$ 、 $BC=7$ のとき、 BD の長さを求めよ。

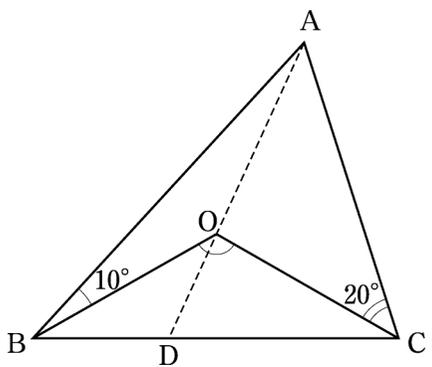


小テスト	No.25 図形の性質 三角形の重心・外心・垂心・内心				/20
	年	組	番	名前	

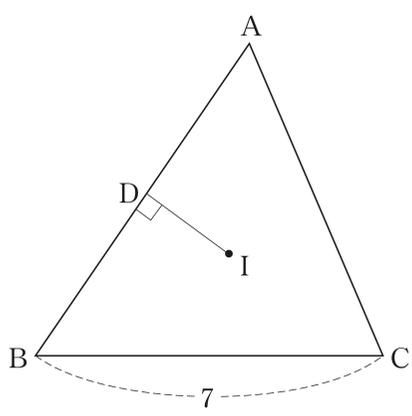
1. 平行四辺形ABCDにおいて△ABCの重心をG，直線GDと対角線ACとの交点をEとする。GD=8のとき，GEの長さを求めよ。



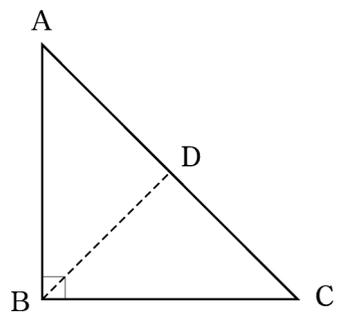
2. 点Oは△ABCの外心である。∠ABO=10°，∠ACO=20°のとき，∠BOCの大きさを求めよ。



3. 点Iは△ABCの内心である。Iから辺ABに下した垂線をIDとする。△ABCの3辺の長さの和が20，BC=7のとき，ADの長さを求めよ。

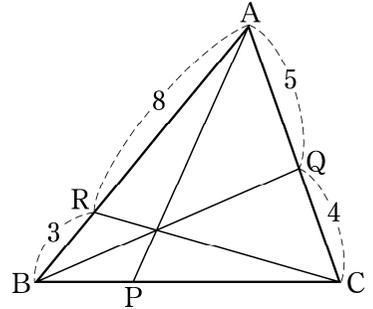


4. 右の△ABCは，∠B=90°の直角二等辺三角形である。この三角形の重心G，外心O，垂心H，内心Iは『すべて異なり，同一直線上にある』といえるか。



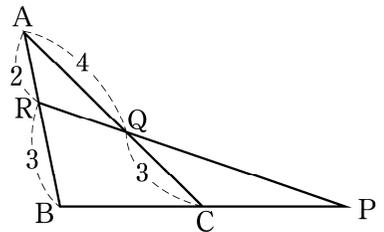
小テスト	No.26 図形の性質 三角形の比の定理				
	年	組	番	名前	/20

1. 右の図で、 $\frac{BP}{PC}$ の値を求めよ。



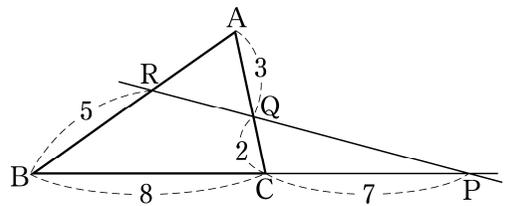
2. 右の図で、次の値を求めよ。

(1) $\frac{BP}{PC}$



(2) $\frac{RQ}{QP}$

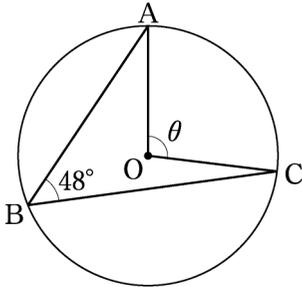
3. 右の図で、AR の長さを求めよ。



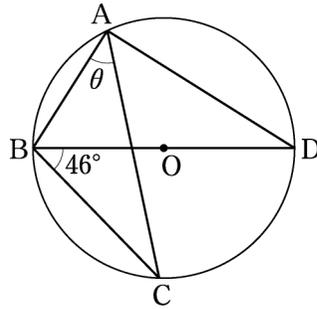
小テスト	No.27 図形の性質 円周角の定理			
	年	組	番	名前
				/20

1. 下の図において、角 θ を求めよ。ただし、Oは円の中心である。

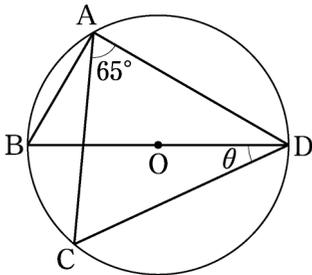
(1)



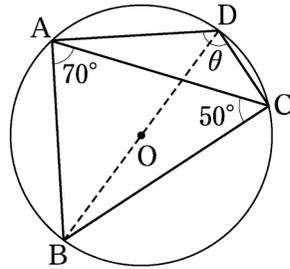
(2)



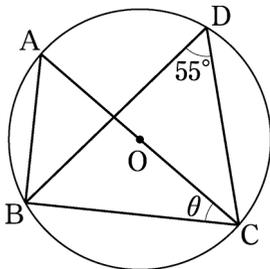
(3)



(4)

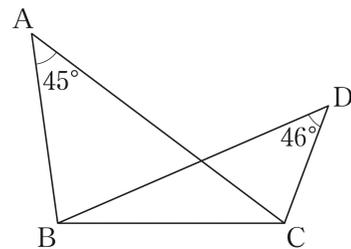


(5)

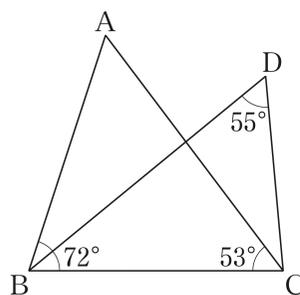


2. 次の(1), (2)について、4点A, B, C, Dが同一円周上にあるか答えよ。

(1)

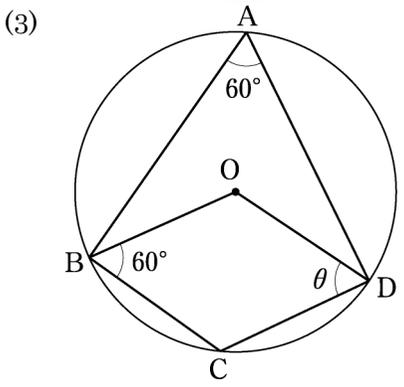
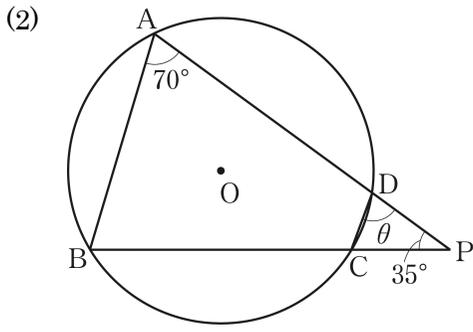
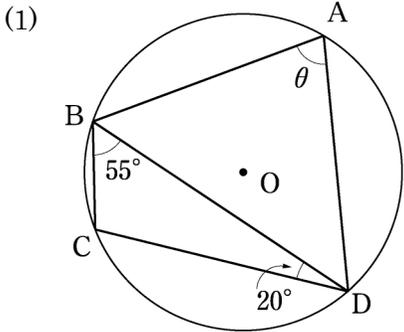


(2)

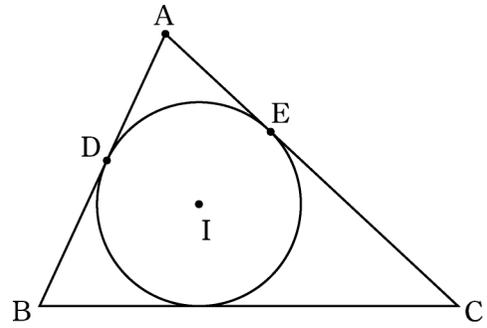


小テスト	No.28 図形の性質 円に内接する四角形				/20
	年	組	番	名前	

1. 下の図において、角 θ を求めよ。ただし、 O は円の中心である。

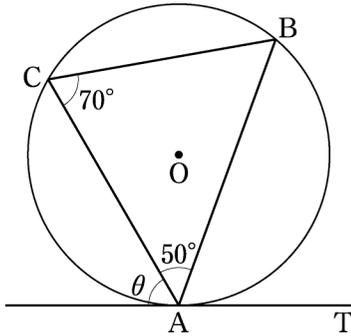


2. $\triangle ABC$ の内接円 I と2辺 AB , AC との接点をそれぞれ D , E とすると、4点 A, D, I, E は同一円周上にあることを証明せよ。

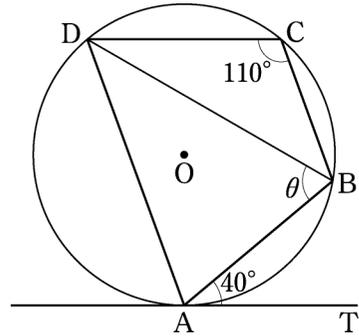


1. 下の図において、AT は円O の接線、A は接点である。角 θ を求めよ。

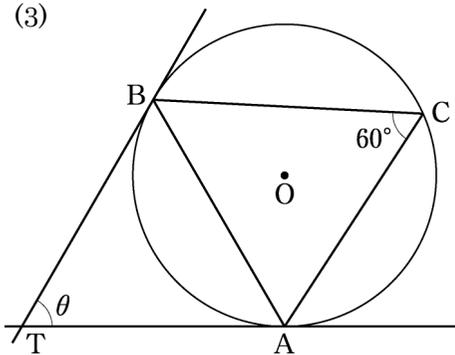
(1)



(2)

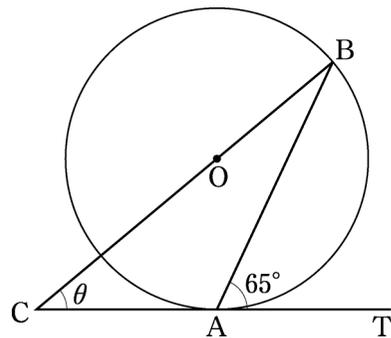


(3)

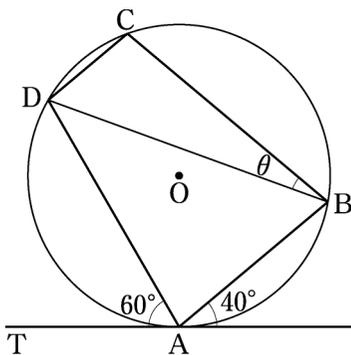


(ただし、BT は接線、B は接点)

(4)



(5)



(ただし、 $AB \parallel DC$)

小テスト解答 No.24 図形の性質 三角形と比

1. $HI \parallel ED$, H は EC の中点, I は DC の中点であるから

中点連結定理より $ED = 2$

同様に $FG = 2$, $GH = 4$

よって $FI = FG + GH + HI$

$$= 2 + 4 + 1 = 7$$

(6点)

2.



(各3点)

3. $BD : DC = AB : AC = 8 : 5$ であるから

$$BD = 7 \times \frac{8}{13} = \frac{56}{13}$$

(5点)

小テスト解答

1. 2点G, Eは対角線BD上にあり, $BG:GE=2:1$ であるから, $GE=x$ とおくと,
 $GD=GE+ED=GE+BE=x+3x=4x=8$ より $x=2$ すなわち $GE=2$

(5点)

2. $OA=OB=OC$ であるから

$$\angle OAB=10^\circ, \angle OAC=20^\circ$$

直線AOとBCとの交点をDとすると

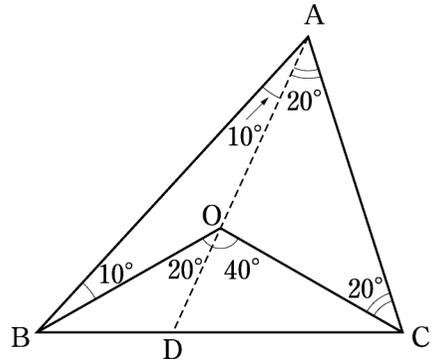
$$\angle BOD=\angle OAB+\angle OBA=10^\circ+10^\circ=20^\circ$$

$$\angle COD=\angle OAC+\angle OCA=20^\circ+20^\circ=40^\circ$$

ゆえに

$$\angle BOC=\angle BOD+\angle COD=20^\circ+40^\circ=60^\circ$$

(5点)



3. Iから2辺BC, CAに下した垂線をそれぞれIE, IFとする。

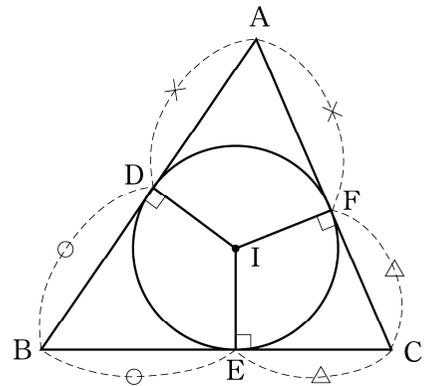
$AD=AF, BD=BE, CE=CF$ であるから,

3辺の長さの和は

$$\begin{aligned} AB+BC+CA &= AD+BD+7+CF+AD \\ &= 2AD+14=20 \end{aligned}$$

ゆえに $AD=3$

(5点)



4. 辺ACの中点をDとすると, 重心GはBD上にある。外心OはD, 垂心HはBに一致する。また, BDは, $\angle B$ の二等分線であるから, 内心IもBD上にある。

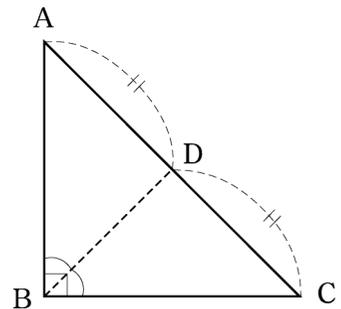
$$\text{また } BI:ID=AB:AD=\sqrt{2}:1$$

$$BG:GD=2:1$$

であるから, IとGは異なる。

ゆえに, 重心G, 外心O, 垂心H, 内心Iはすべて異なり, 同一直線BD上にある。

(5点)



1. チェバの定理より

$$\frac{BP}{PC} \cdot \frac{CQ}{QA} \cdot \frac{AR}{RB} = 1$$

よって、 $\frac{BP}{PC} \cdot \frac{4}{5} \cdot \frac{8}{3} = 1$ より $\frac{BP}{PC} = \frac{15}{32}$ (5点)

2. (1) メネラウスの定理より

$$\frac{BP}{PC} \cdot \frac{CQ}{QA} \cdot \frac{AR}{RB} = 1$$

よって、 $\frac{BP}{PC} \cdot \frac{3}{4} \cdot \frac{2}{3} = 1$ より $\frac{BP}{PC} = 2$

(2) (1)より点CはBPの中点である。

メネラウスの定理により

$$\frac{BA}{AR} \cdot \frac{RQ}{QP} \cdot \frac{PC}{CB} = 1$$

よって、 $\frac{5}{2} \cdot \frac{RQ}{QP} \cdot \frac{1}{1} = 1$ より $\frac{RQ}{QP} = \frac{2}{5}$ (各4点)

3. メネラウスの定理より

$$\frac{BP}{PC} \cdot \frac{CQ}{QA} \cdot \frac{AR}{RB} = 1$$

よって、 $\frac{15}{7} \cdot \frac{2}{3} \cdot \frac{AR}{5} = 1$ より $AR = \frac{7}{2}$ (7点)

1. (1) $\theta = 48^\circ \times 2 = 96^\circ$

(2) 弧CDに対する円周角で $\angle CAD = \angle CBD = 46^\circ$
直径BDに対する円周角で $\angle BAD = 90^\circ$
よって $\theta = \angle BAD - \angle CAD = 90^\circ - 46^\circ = 44^\circ$

(3) 直径BDに対する円周角で $\angle BAD = 90^\circ$
弧BCに対する円周角で $\angle BAC = \angle BDC = \theta$
よって $\theta = \angle BAD - \angle CAD = 90^\circ - 65^\circ = 25^\circ$

(4) 弧ABに対する円周角で $\angle ADB = \angle ACB = 50^\circ$
弧BCに対する円周角で $\angle BDC = \angle BAC = 70^\circ$
よって $\theta = \angle ADB + \angle BDC = 50^\circ + 70^\circ = 120^\circ$

(5) 弧BCに対する円周角で $\angle BAC = \angle BDC = 55^\circ$
直径ACに対する円周角で $\angle ABC = 90^\circ$
よって $\theta = 180^\circ - (\angle BAC + \angle ABC) = 180^\circ - (55^\circ + 90^\circ) = 35^\circ$

(各3点)

2. (1) $\angle BAC < \angle BDC$ だから、4点 A, B, C, D は同一円周上にはない。

(2点)

(2) $\angle BAC = 180^\circ - (72^\circ + 53^\circ) = 55^\circ$, $\angle BDC = 55^\circ$
A, D が直線BCに関して同じ側にあつて、 $\angle BAC = \angle BDC$ であるから、
4点 A, B, C, D は同一円周上にある。

(3点)

1. (1) $\angle BCD = 180^\circ - (55^\circ + 20^\circ) = 105^\circ$, $\theta = 180^\circ - \angle BCD = 180^\circ - 105^\circ = 75^\circ$

(2) $\triangle PAB$ において $\angle ABP = 180^\circ - (70^\circ + 35^\circ) = 75^\circ$

$\theta = \angle ABP = 75^\circ$

(3) 円周角と中心角の関係から $\angle BOD = 2 \times \angle BAD = 2 \cdot 60^\circ = 120^\circ$

$\angle BCD = 180^\circ - 60^\circ = 120^\circ$

四角形OBCD において

$\theta = 360^\circ - (120^\circ + 60^\circ + 120^\circ) = 60^\circ$

(各 5 点)

2. 四角形ADIE において,

円の接線は接点を通る半径に垂直であるから

$\angle ADI + \angle AEI = 90^\circ + 90^\circ = 180^\circ$

1組の対角の和が 180° であるから四角形ADIE は円に内接する。

すなわち, 4点A, D, I, E は同一円周上にある。

(5 点)

1. (1) $\triangle ABC$ において

$$\angle ABC = 180^\circ - (50^\circ + 70^\circ) = 60^\circ$$

よって $\theta = \angle ABC = 60^\circ$

(2) $\angle ADB = \angle TAB = 40^\circ$

また、四角形ABCDは円に内接しているので

$$\angle BAD = 180^\circ - 110^\circ = 70^\circ$$

よって $\theta = 180^\circ - (40^\circ + 70^\circ) = 70^\circ$

(3) $\angle TAB = \angle TBA = \angle ACB = 60^\circ$

よって $\theta = 180^\circ - (60^\circ + 60^\circ) = 60^\circ$

(4) BCと円との交点をDとすると、 $\angle ADB = \angle TAB = 65^\circ$ より

$$\angle ADC = 180^\circ - 65^\circ = 115^\circ$$

また、 $\angle BAD = 90^\circ$ より

$$\angle CAD = 180^\circ - (65^\circ + 90^\circ) = 25^\circ$$

よって $\theta = 180^\circ - (115^\circ + 25^\circ) = 40^\circ$

(5) $\angle BAD = 180^\circ - (40^\circ + 60^\circ) = 80^\circ$

四角形ABCDは円に内接しているので

$$\angle BCD = 180^\circ - 80^\circ = 100^\circ$$

また、 $AB \parallel DC$ であるから

$$\angle BDC = \angle ABD = \angle TAD = 60^\circ$$

よって $\theta = 180^\circ - (100^\circ + 60^\circ) = 20^\circ$

(各4点)